

基本政策シート

2025年度	(管理番号)			部局名
	分野	基本政策		市長公室
	07	01	02	
		02	02	

分野	基本政策
地方自治	市民とともに歩む未来を見据えた行政運営

将来の理想の姿(2044年)

持続可能な行政運営を推進し、市民が幸せを感じられる自治体になっている。

10年後(2034年)の理想の姿

多様な主体との協働を通じて、市民の幸福実感につながる政策を実行し、オール浜松で元気なまちを実現している。

生活満足度に関する指標(分野指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
地域への愛着	あなたは暮らしている地域に対する愛着や誇りを持っていますか。	3.36	3.35				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

政策体系

政策番号				政策	事業名	担当課名
01	02	03	01	首都圏における戦略拠点の機能強化	首都圏情報収集発信事業	東京事務所
01	02	04	01	市民主体のまちづくりを支える広聴広報の好循環	広聴事業	広聴広報課
					市政広報事業	広聴広報課
					オープンデータプラットフォーム・ホームページ運用事業	広聴広報課
					広聴広報デジタル運営経費	広聴広報課
					広聴広報運営経費	広聴広報課
02	02	07	01	確実な秘書の遂行と表彰の推進	市長・副市長秘書管理事業	秘書課
					市勢功労者表彰事業	秘書課
					政策調整事業	秘書課

※「事業名」は政策シート①事業活動(アクティビティ)における事業名

2025年度の取組の方向性

- ・ 中央省庁や他都市からの情報収集を迅速に行うとともに、本市の魅力や情報を多くの人に時機を逃さず発信します。
- ・ これまで築いた首都圏におけるネットワークを生かし、本市の課題解決に向けた要望などの活動が円滑かつ効果的に行われるよう市長や関係各課をサポートします。
- ・ 若年層を対象にしたアンケート調査や中学生を対象とした広聴集会のほか、新たに大学生との広聴集会を開催し、若い世代の声やアイデアを今後の市政運営の参考とするための事業に取り組みます。
- ・ 市民が必要とする情報を届けるとともに、より多くの人に市政に関心を持ってもらえるよう、さまざまな媒体を活用して、より効果的な情報発信に取り組みます。
- ・ 市が保有するオープンデータを積極的に公開し、利活用の促進につなげます。
- ・ 市長のトップマネジメントを補佐し、円滑な政策決定や着実な市政運営を推進します。
- ・ 市民の郷土に対する愛着を深めるため、市勢への顕著な功績を表彰し、市政の発展や公益の増進を図ります。
- ・ 行政課題の解決に資する政策の検討、企画、立案を行うにあたり、民間人材を活用し、専門的な見地からの指導、助言や既存の行政の考え方に捉われない発想やアイデアを取り入れます。

【2025年度の評価】

2025年度の基本政策の評価と2026年度以降の取組の方向性（2026年度記載）

- ・ 中央省庁等の動向を的確に把握し、タイムリーな情報収集を迅速に行うとともに、本市の魅力や情報を多くの人に多面的・効果的に発信した。引き続き、中央省庁や他都市からの情報収集を迅速に行うとともに、本市の魅力や情報を多くの人に時機を逃さず発信する。
- ・ 社会経済環境の変化に伴う本市の課題解決に向けた要望等が円滑に行われるよう市長や関係各課の活動をサポートした。引き続き、これまで築いた首都圏におけるネットワークを生かし、本市の課題解決に向けた要望などの活動が円滑かつ効果的に行われるよう市長や関係各課をサポートする。
- ・ 市長と大学生による意見交換会を開催し、地域課題について若者の率直な意見を聴くことができた。若者に選ばれるまちづくりに向け、新たに高校生との意見交換会を開催し、若者の声を市政に反映させるとともに、市政への関心を高めるきっかけとする。
- ・ 地域の魅力や市の施策など様々な情報を、ターゲットを意識して多様な媒体で幅広い発信を行った。今後は、特に若年層に向けた情報発信を強化していくとともに、登録者数の多い市公式LINEをプッシュ型情報発信の基幹媒体として、機能拡充を進めながら各種情報を発信していく。
- ・ オープンデータの利便性を高めるため、活用しやすいデータ形式での公開と更新を行った。オープンデータのさらなる利活用促進に向けて、適時適切な公開と更新を行っていく。
- ・ 市長の公務遂行全般に係る秘書管理業務を適切に実施するとともに、市政全般に係る情報を収集し、市長のトップマネジメントを補佐した。今後もこれらの取り組みを通じて、円滑な政策決定や着実な市政運営を推進する。
- ・ 市政の発展と公益の増進に寄与した6名を市勢功労者として表彰し、その功績を広く紹介した。今後も関係部局と連携しながら、功績が顕著な者について積極的な情報収集に努めていく。
- ・ 民間専門人材を新たに2名委嘱し、専門的な知見からの指導・助言を行政課題の解決に生かした。今後も民間専門人材の活動実績と活用によるメリット等を庁内に周知し、新たな分野への導入につなげていく。